

令和5年度 奈川小中学校グランドデザイン

【山間小規模である本校によせる地域・保護者・学校共通の願い】
 15の春を、奈川小中学校での学びに誇りと自信をもって、力強く踏み出して行って欲しい

学校教育目標 『夢を追い 心豊かに たくましく』

＜本校におけるへき地や複式・小規模校の特徴を生かした学校運営の成果と課題＞

- ・ 少人数を生かし、一人一人の子どもの成長やつまづき・悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援したり、個別の丁寧な支援により、子どもたちが自らの学習の状況を把握し、協力・協働しながら主体的に学習できるように促してきたりなど、「個に応じた指導」「力を合わせて達成する体験」の充実を目指してきた。
- ・ また、保護者や保護者以外の地域の方々との交流も多く、学校がどのような教育をしているのか地域に伝わりやすく、地域の方々の思い・願いも直に受け止めやすい。
- ・ 特に、奈川地区は‘地域の子は地域で育てる’という理念が定着しており、「奈川地域づくりセンター」「CS運営委員会」「ふるさと奈川をおこす会」等外部関係機関とも十分に連携がとれ、本校のストロングポイントとなっている。
- ・ 一方、役割・立場の固定化や過剰な援助など、自己決定し、願いの実現に向けて粘り強く取り組む力にやや欠けるなど、少人数ならではの課題も多い。

○「夢を追い」・・・ 知 内から学び、日々新たになっていく子ども
 子どもの学びは外から行われるのではなく、子どもの内発的動機付けから発する。**自立的な学び**（個別最適な学び）を中心とした授業の充実により、子ども達が自ら学び、自分の夢と可能性を広げ、自己更新していけるようにしたい。これにより「知」の自立を促す。

○「心豊かに」・・・ 徳 お互いの良さを認め、生活を高め合う子ども
異校種・異年齢交流を生かし、お互いの良さを尊重し合って共に学び高めあっていく人間的な関わりを充実させることで、個々の自立を後押ししていく。

○「たくましく」・・・ 心体 進んで鍛え・耕し、挑戦し続ける子ども
 心身の健康と体力・気力の充実が自立の基礎となる。**ふるさと学習（キャリア教育）**などを通し自己（郷土）理解を深めたり、自分に合った目標をたてて運動に粘り強く取り組んだりすることを通し、自己肯定感を高めバランスの取れた発達を促したい。

小中連携「奈川モデル」の実践的研究

全校テーマ「学びをつなげ深める授業づくり」
 ～「一斉授業からの脱却」をキーワードとして～

- ・「自立的な学び」自由進度学習の研究
- ・「協働的な学び」異年齢集団・他校交流等
- ・「ふるさと学習」みどりの少年団・150周年事業

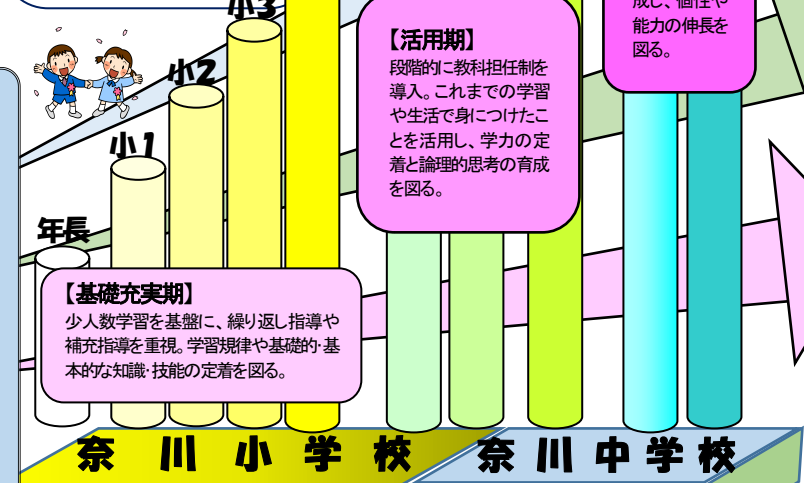
◇学校行事や交流活動を中心と
 なって進めることを通して、
 年長者としての自覚を高め、**中3**
 自己肯定感を高める。

＜地域との連携＞

- ・CS運営委員会
- ・小中学校PTA
- ・ふるさと奈川をおこす会等の皆様

◇教科担任制を徐々に増やし、**中1**
 年で完全に移行する。
 ◇中学校職員による教科指導や、**中1**
 中学生との交流を通して、自身の
 成長モデルを明確にする。

◇幼保小連携も含め、行事や交流活動を通して、上級生のお兄さんお姉さんに大事にされ、大事にする経験を積みあげ自己肯定感や年長者へのあこがれの気持ちの醸成する。



小中全職員で全児童生徒を育てる＝学び合い高め合う教職員の真の同僚性の構築

自己決定し、願いの実現に向けて粘り強く取り組む子・郷土奈川を想い愛着を持つ子
 奈川小中学校での学びに誇りと自信をもてる児童生徒の育成